
◆ 目次 ◆

- 1 内川昭彦在モンリオール日本国総領事挨拶
- 2 11 月及び 12 月の休館日
- 3 領事窓口時間等について
- 4 領事だより
 - (1) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要（3 月 27 日から）
 - (2) ハリファックス日本語補習授業校からのお知らせ
- 5 広報・文化だより
- 6 当館管轄 5 州の政治
- 7 当館管轄 5 州の経済

* * * * *

1 内川昭彦在モンリオール日本国総領事挨拶

今月号のご挨拶は、領事メールでは写真が掲載できないため、下記の URL に掲載いたしました。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/CG/cg_202311.pdf

2 11 月及び 12 月の休館日

- 12 月 25 日（月） Christmas Day
- 12 月 26 日（火） Boxing Day
- 12 月 29 日（金） 日本国行政機関の休日
- 毎週土日

3 領事窓口時間等について

(1) 当館の開館時間

以下の URL をクリックするとご確認いただけます。手続きの内容によって時間が異なりますので、ご注意ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/office.html#section3

(2) 一部の取り扱いにおける予約制

(i) 対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請

- ・署名証明の申請
- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】514-866-3429

4 領事だより

(1) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要（3月27日から）

●オンライン申請の開始

(i) 2023年3月27日から、旅券の発給申請手続きがオンライン化されています。

(ii) オンライン申請の場合、

・戸籍謄本提出の省略が認められる切替申請は、申請時に在外公館の窓口へ出向く必要がありません（旅券の受け取りは、これまで通り窓口での対応となります。受け取る際は、必ず前回の旅券をお持ちください）。

・新規申請の場合や、現在お持ちの旅券面の記載事項を変更する場合は、戸籍謄本の提出が必要になります。窓口での提出、または、書留郵便やそれに準ずるものであれば郵送で提出することもできます。

(iii) 日本国外居住者の皆様は、オンライン在留届（ORR ネット）で在留届を提出した上で、在留邦人用旅券申請スマホアプリを通じてオンライン申請が可能となります。

(iv) オンライン申請は、アプリの画面上の案内にしたがって実施していただくことになります。

(v) 紙で申請されるか、オンラインで申請されるかは、申請者の皆様にお選びいただけます。したがってこれまでどおり、紙の旅券申請書に必要事項を記入し、当館窓口に来館してご申請になる方法も引き続き可能です。

【外務省ウェブサイト】

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/page22_004039.html

●申請手続きの変更【今一度確認ください！】

(i) 戸籍謄本について

新しく旅券を申請する場合や、旅券面の記載事項に変更がある場合は、戸籍抄本ではなく、戸籍謄本をご用意ください。3月27日以降、戸籍抄本での申請はできなくなりました。

(ii) 査証欄（ビザページ）が残り少なくなった場合

旅券の査証欄を追加する増補制度が廃止されました。旅券の査証欄が残り少なくなりましたら、新しい旅券を申請してください。

(iii) 新しい旅券の速やかな受け取りについて

新しい旅券が発行され、6 か月以内に受け取られない場合、新しい旅券は失効します。失効後 5 年以内に次の旅券を申請する際は、手数料の額が通常よりも高くなります

（※2023 年 3 月 27 日以降に申請された旅券が 6 か月以内に受け取られずに失効した場合に適用されます）。

(iv) 申請書の様式変更について

オンライン申請ではなく、紙の申請書を使い窓口で申請される場合、2023 年 3 月 27 日から、旅券発給等のための申請書の様式が変更されています。同日以降の申請では、古い様式の申請書では受付できません。ご自宅で印刷可能な新様式のダウンロード申請書は以下のウェブサイトからご利用いただけます。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

(2) ハリファックス日本語補習授業校からのお知らせ

ハリファックス日本語補習授業校では、随時、入学希望の新入生、他学年の生徒の募集をしております。

ご入学希望の方は、下記のアドレスまでご連絡ください。

japaninhalifax@gmail.com

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（ culture@mt.mofa.go.jp ）までお知らせください。毎月 10 日までに原稿をいただければ同月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

●X

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

(2) カナダ巡回日本映画祭（ケベック市）

国際交流基金トロントとの共催、ケベック・日本友好協会の協力で、カナダ巡回日本映画祭を開催します。入場無料ですが、事前登録が必要となります。

日時：12月1日（金）

場所：Théâtre de poche (POL-2113)

Université Laval, Québec, QC

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/2023JFF_QC_Poster.pdf

事前登録先：<https://forms.gle/JbaZbmnxLcXtPGZcA>

（ア）15時30分

JET プログラム・国費留学生制度等、人物交流プログラム説明会（仏語）

（イ）16時15分

「Bento Harassment（今日も嫌がらせ弁当）」（2019／106分／英語字幕）

監督：塚本連平 出演：篠原涼子、芳根京子、松井玲奈ほか

（ウ）18時30分

「Finding Calico（先生と迷い猫）」（2015／107分／英語字幕）

監督：深川栄洋 出演：伊ッセー尾形、染谷将太、もたいまさこ、岸本加世子ほか

（3）第4回国際裁判機関等インターンシップ支援事業のお知らせ

<https://intern-support.jp/>

（4）日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●ドキュメンタリー映画「REALVOICE」上映会（無料）

虐待経験のある全国の若者達の声を集めたドキュメンタリー映画です。映画上映後に、山本昌子監督（オンライン参加）を含むパネル・ディスカッションも予定されています。

日時：11月22日（水）17時30分

場所：Centre for Research on Children and Families, McGill University

Room 189, Suite 100, Tour Est 550 Sherbrooke Ouest, Montreal

<https://real-voice.studio.site/>

●Salon du livre de Montréal

マンガに関する展示・イベントがあります。

期間：11月22日（水）～26日（日）

場所 : Palais des congrès de Montréal
1001 Jean Paul Riopelle, Montréal
<https://www.salondulivredemontreal.com/>

●いけばなインターナショナル 11 月例会

Lynne Williams 氏及び Adrienne Doedel 氏による小原流デモンストレーション及びワークショップが行われます。

日時 : 11 月 24 日 (金) 13 時

場所 : Monkland Community Center

4410 Av. West Hill, Montréal

参加費 : 20 ドル

連絡先 : 田中和子氏 (kazuko.dorangeville@gmail.com)

●Marché des Fêtes à la Japonaise / Japanese Holiday Market

日時 : 11 月 25 日 (土)・26 日 (日) 12 時~17 時

場所 : Centre Communautaire de Loisirs Sainte-Catherine d' Alexandrie

1700 Atateken, Montréal

<https://fb.me/e/vnSIh00it>

●モントリオール日系コミュニティーコーラス「歌おう会」

「赤とんぼ」「ゆうやけこやけ」「おかあさん」「里の秋」ほか、季節の唱歌・童謡・地方民謡など、日本の歌を日本語で歌う会です。(ピアノ伴奏 : 登かなえ氏)

日時 : 11 月 30 日 (木) 11 時 (約 45 分)

場所 : モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montréal

参加費 : モントリオール日系文化会館会員 5 ドル、一般 8 ドル (小学生以下無料)

参加申込み・問合わせ先 :

(モントリオール日系文化会館) 514-728-1996 または jcccm_yh@bellnet.ca

●モントリオール日系文化会館主催「ホリデー・バザー」

日時 : 12 月 2 日 (土) 11 時~17 時

場所 : モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montréal

<https://www.jcccm-cccjm.ca/?language=en>

●Japanese Holiday Market (Sakura Market) (ハリファックス市)

日本食、日本関連のアート、クラフトなどの販売、ダルハウジー大学日本人学生によるワークショップが行われます。

日時：12月3日（日）12時～15時

場所：Halifax Brewery Market Upper Courtyard

1496 Lower Water St, Halifax, NS

[https://www.facebook.com/events/261746940170795/?acontext=%7B%22event_action_history%22%3A\[\]%7D](https://www.facebook.com/events/261746940170795/?acontext=%7B%22event_action_history%22%3A[]%7D)

●モントリオール子どもクラブ

モントリオール子どもクラブは、日系親子の集うプレイグループです。参加をご希望の方は以下のメールアドレスにご連絡ください。

開催日時：12月8日（金）及び22日（金）11時～15時

場所：モントリオール日系文化会館

参加費：1ドル

連絡先：info.mtlkodomoclub@gmail.com

FB アカウント： <https://www.facebook.com/profile.php?id=100090537858737>

IG アカウント： https://www.instagram.com/kodomoclub_montreal/

●Camp de Jour Manga de Noël

日時：12月17日（日）10時～11時及び11時30分～12時30分

場所：Centre de Ressources Communautaires Côte-des-Neiges

6767 Chemin de la Côte-des-Neiges, Montréal

<https://www.coursdemangamontreal.com/>

●ランゲージ・ティータイム

NUMA Institute では、語学学習者同士の交流を深める場を提供しています。

日時：毎週月曜（フランス語）、火曜（英語）、水曜（日本語）15時30分～17時30分

場所：NUMA Institute

Centre St. Jax, 1439 Sainte-Catherine O., Montréal

参加費：スナックかお茶または寄付（5ドル）

NUMA Institute と E-QIP ランゲージスクールの生徒及びボランティア（募集中）は無料

<https://www.numa-inst.com/products>

●ランゲージ・エクスチェンジ（仏語－日本語）

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクスチェンジが、毎週土曜日朝8時（カナダ東部時間）から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis 氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター

日本語教師向けにワークショップや情報交換会（オンライン）が随時開催されています。
<https://jftor.org/language/teachers/>

E-library で日本の本、マンガや雑誌などを読むことができます。
<https://jf.overdrive.com/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。
<https://jftor.org/>

6 当館管轄 5 州の政治

(1) ケベック (QC) 州

・10月2日、モントリオールで、「社会的連帯経済 (SSE) に関する国連機関横断タスクフォース (UNTF SSE)」の第4回シンポジウムが開催される。QC 州の SSE に関する専門知識を生かした行動計画の考案を目指し、16 の国連機関から 70 人以上の専門家等が出席。

・10月2日、ブランシェ・ブロックケベコワ党首は、ヨーロッパ（フランス、スコットランド、北アイルランド）を再訪。パリでラファラン元仏首相、エディンバラで独立派議員、ベルファストでシン・フェイン党議員と会談実施。

・10月2日、与党ケベック未来連合 (CAQ) 議員の辞職にともない実施されたジャン・タロン選挙区の補欠選挙の結果、ケベック党 (PQ) のパラディ氏が 44.1% の得票率で当選。PQ が同選挙区で勝利するのは初めて。CAQ 候補は 21.3% の得票率で次点。これにより州議会の各党議席数は CAQ89、自由党 18、ケベック連帯 (QS) 12、PQ4、無所属 2。

・10月2日、モントリオールで、気候変動への適応に関する世界最大の会議「Adaptation Futures 2023」が開催される。ギルボ連邦環境大臣、シャレット州環境大臣、プラント・モントリオール市長を含む 2200 人が出席。州政府は、気候変動に脆弱な仏語圏 9 ヶ国（ベナン、ブルンジ、ギニア、ハイチ、マリ、モロッコ、セネガル、トーゴ、チュニジア）における 15 のプロジェクトを支援するため、1100 万ドルを支出すると発表。

・10月4日、ドランヴィル州教育大臣は、公立小中高等学校における携帯電話の使用を禁止したと発表（教育目的の使用は除く）。

・10月10日、ハマスによるイスラエル攻撃を受け、州政府は、10月に予定していた、中東初となるイスラエルの在テルアビブ州政府事務所の開設延期を決定。ルゴー州首相は同日、自身と州はイスラエルの味方であると表明した上で、攻撃翌日にモントリオールで開催された親パレスチナ集会を非難。

・10月13日、州政府は、2024 年秋より、州内の英語系大学について、州外から来るカナダ人学生に対する授業料を現在のほぼ 2 倍となる約 17000 加ドルに引き上げると発表。外国人留学生の学費は 2 万加ドルに引き上げられる。授業料引き上げによる収入を仏語系大学に再分配するのが目的との説明。フランス人とベルギー人、ならびに大学院

生・大学院研究生、また既に州内大学で学ぶ学生は同措置の対象外となる予定。州内の英語系 3 大学（マギル、コンコルディア、ビショップス）では、学生数と収入の大幅減を懸念。18 日、プラント・モンリオール市長は、市内の英語系大学生の存在は、市中心部と州全体の経済活性化に貢献しており、同措置はモンリオールに深刻な打撃を与えると懸念を表明。

- ・10 月 13 日、州自由党は、党首選を 2025 年春に実施することを決定。

- ・10 月 16 日、プラント・モンリオール市長は、持続可能な開発プログラム実施に向けた自治体の参画促進を目指す、国連の新たな諮問グループに参加する。プラント市長の他、アダムス・ニューヨーク市長、ラルー・ラバト（モロッコ）市長、イダルゴ・パリ市長他 19 人が選出された。

- ・10 月 17 日、州内複数の公共サービス（医療、社会サービス、教育）組合からなる共同戦線の総勢 42 万人の組合員は、95%がストライキ実施に賛成票を投じる。1 回目のストライキは 11 月 6 日に実施されることが決定。29 日、共同戦線は、新たな政府提案（5 年間で 10.3%の賃上げ）を「侮辱的」とし拒否。共同戦線の要求は 3 年間で約 20%の定期昇給。

- ・10 月 23 日、サン＝ピエール・プラモンドン (Paul St-Pierre Plamondon, PSPP) PQ 党首は、「主権国家ケベック」1 年目の予算を発表。2027 年に州がカナダから独立した場合、「均衡財政に極めて近く」、現在の州・連邦政府間で重複している部門や事業がなくなることで「大幅な節約」が可能となり、QC 国民により良いサービスを提供できるようになるという内容。PQ は、独立により 7 年間で 120 億ドルを節約できると予測。カナダドルの代わりに独自の通貨や、45 億ドルを支出しての軍隊保有も想定。一方、連邦 5 省で働く QC 国民は職を失う可能性があるとのこと。

(2) ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

- ・10 月 12 日、フット現州副総督の後任として、元看護師、元州議会議員（自由党）として閣僚経験もあるエイルワード (Joan Marie Aylward) 氏が新副総督に任命される。11 月 14 日に正式に就任予定。

- ・10 月 14 日、州進歩保守党（第 1 野党）党首選実施。2 回目の投票でウェイカム (Tony Wakeham) 現州議会議員（Stephenville・Port au Port 選挙区）が選出される。

- ・10 月 23 日、ハンラハン州首席会計監査官は、2019～2022 年のメモリアル大学の会計について調査した結果、広範囲にわたる非効率で行き過ぎた支出があり、また幹部級職員の 90%が州政府の同等の役職に比べ極端に高額な報酬を得ていたと報告。

(3) プリンスエドワードアイランド (PEI) 州

- ・10 月 31 日、PEI 大学気候変動適応センターによると、2022 年、州に大きな被害をもたらしたハリケーン「フィオナ」の影響で、州内各地で記録的な規模の海岸線が失われた。状況が最も深刻なのは州西岸の Cape Gage Road で平均 7 メートル、また近隣の Miminegash Harbour では場所によって 25 メートルの海岸浸食を観察。

(4) ノバスコシア (NS) 州

・10月12日、州議会開会。ベイン議長の後任として、マクファーレン (Karla MacFarlane) 氏が州史上初の女性議長に就任。

・10月12日、トンプソン州保健大臣は、ブリティッシュコロンビア (BC) 州が主導するオピオイド訴訟に州が参加することを目指し、「オピオイド被害・医療費回復法」の文言を他州の同様の法律に合わせるための法案を議会に提出。

・10月18日、ハリファックス市議会は、ホームレスの人々が野営できる区域として、新たに市役所広場 (Grand Parade) を含む6ヶ所を指定する計画を承認。指定区域ではテントの数に原則上限が設定された上で、水道、トイレ、ごみ収集等の自治体サービスが提供される。

(5) ニューブランズウィック (NB) 州

・10月17日、州議会開会。施政方針演説は団結を呼びかける内容で、与党内の分裂・造反にともなう解散選挙を招きうる要素はなし。27日、信任投票となる施政方針演説が可決されるも、ヒッグス州首相は解散選挙の可能性を否定せず。(11月3日、ヒッグス州首相は、年内の選挙実施はないことを明言。)

【各州世論調査結果】

・QC 州 (レジェ (Léger Marketing) 調べ、10月27～30日)

(1) 州政党支持率 (未確定分は除く)

ケベック未来連合 (CAQ) 30%, ケベック党 (PQ) 26%, ケベック連帯 (QS) 15%, 自由党 (PLQ) 15%, ケベック保守党 (PCQ) 12%, その他 3%

(2) 連邦政党支持率 (未確定分は除く)

ブロック・ケベコワ (BQ) 30%、与党自由党 27%、保守党 22%、新民主党 (NDP) 13%、その他 8%

(3) ケベックの独立

賛成 35%, 反対 54%, 回答無 11%

7 当館管轄5州の経済

(1) QC 州

・10月5日、Viandes Robitaille は、「ナガノ」豚肉の日本市場向け加工を専門としていたヤマシシュ (モリシー地域) 工場を11月17日に閉鎖すると発表。円安による対日輸出減が一因。74人の雇用が失われる。

・10月6日、日立エナジーは、ケベック市地域交通局 (RTC) のバス電化パイロットプロジェクトの一環で、電気バス充電システム「Grid-eMotion Fleet」の導入に成功。

・10月12日、シャレ政権時代の2009年に建設が始まり、年間発電量8TWh、4つのダムからなるロメヌ(La Romaine, コート・ノール地域)水力発電プロジェクトが完成。落成式に出席したルゴ州首相は、将来の電力需要増に向け、新たなダム建設は避けられないと発言。

・10月14日、村田製作所は、エネルギー効率の良い無線通信用の半導体とソフトウェアのファブレス(製造施設を持たない)新興企業 HaiLa Technologies (本社モントリオール)の資金調達ラウンドを主導し、合計で1040万米ドルの調達に成功。

・10月19日、金融協同組合のデジャルダングループは、モントリオール支店とレヴィ本店の400人の従業員を解雇すると発表。

・10月19日、モントリオール観光局によると、2023年夏の観光産業はコロナ禍前の水準に回復した。海外からの旅行者は2019年夏比15%増、ホテルの平均稼働率は80%、全体の収益は2022年を上回った。

・10月20日、École de technologie supérieure (ETS, ケベック大学系列の理工系学校)は、ロングイユキャンパス設立を発表。既にロングイユを拠点としている航空宇宙関連の教育機関や企業との教育・研究・イノベーションにおける関係強化を目指す。

・10月22日、モントリオールと五大湖を結ぶ海路の運航を管理するセントローレンス海路管理公社(SLSMC)と労働組合(Unifor)の労使交渉は合意に至らず、組合員約360人がストライキに突入。30日、労使は基本合意に達し、ストが終結。

・10月23日、州・連邦両政府は、それぞれ650万加ドルと360万加ドルを支出し、モントリオール、ケベック、シェルブルックの3都市に量子通信研究に特化した光ファイバーインフラ「ケベック量子通信ネットワーク(Kirq)」を整備する。運営するのは非営利団体ヌマナ(Numana)。

・10月25日、ジラル州財務大臣は、州経済は停滞しているが景気後退に陥ることはなく、第3四半期はプラスに転じるとの見解を表明。

・10月27日、ストーノウェイ・ダイヤモンド(Stornoway Diamonds)は、Renard ダイヤモンド鉱山(ノール・デュ・ケベック地域)の操業を停止するとともに425人の従業員を解雇。ダイヤモンド価格の下落と、それにとまなうインドによる原石輸入一時停止措置が打撃。同社にはケベック投資公社(IQ)とケベック貯蓄投資公庫(CDPQ)が出資。フィッツギボン州経済・イノベーション・エネルギー大臣は、州は同社を救済しない旨発言。

(2) 大西洋諸州

・10月16日、NS・NB両州政府と連邦政府は、大西洋州全域をQC・NL州からの水力発電によるグリーン電力で接続する「アトランティックループ」の代わりに「縮小版」プロジェクトを進めることで合意。「縮小版」プロジェクトは10~20億加ドルと見積もられ、NB州SalisburyとNS州Onslowを結ぶ既存の送電線(120km)改修・強化と、NB州セントジョンのポワン・ルプロー原子力発電所までの送電網拡大を予定((5)NS州経済ニュース参照)。

・10月26日、トルドー連邦首相は、ガソリンに対する炭素税の地方部向けリベート割増額を10%から20%に倍増するとともに、大西洋州で広く使われている家庭暖房用石油に対する炭素税課税を3年間停止すると発表。大西洋州の複数の連邦自由党(与党)議員は、公共交通機関がない地域では車を使う他の選択肢はなく、現行額では足りないとして地方部のリベート額引き上げをトルドー連邦首相に要請していた。大西洋州首相た

ちは発表を歓迎するも、ヒューストン NS 州首相とヒッグス NB 州首相は、ガソリンに対する炭素税撤廃も引き続き希望。

(3) NL 州

・10月17日、州政府は、二酸化炭素(CO2)を分離回収・有効利用・貯留する技術(CCUS)の研究開発を進める企業・団体・研究者を募集すると発表。州のオフショア石油産業の脱炭素化と、州沖合を州内外で生産されたCO2の貯蔵拠点とする実現可能性、の2分野の研究について最大300万加ドルずつ支援する。

・10月23日、州政府は、ウーバー(Uber)等のライドシェアサービス参入促進のため、一部のドライバーに対する試験要件の廃止を含む道路交通法の改正を検討していると発表。

・10月24日、スコシアバンク(Scotiabank)は、ニューファンドランド島地方部の8支店を閉鎖すると発表。閉鎖の時期等の詳細は不明。

(4) PEI 州

・10月3日州政府は、連邦政府が新規賃貸アパート建設に対する連邦売上税5%を2030年まで撤廃するのに合わせて、州売上税(10%)も撤廃すると発表。2028年までに建てられた住宅が対象で、その後も2035年までは一部対象となる。

・10月4日、州政府は、最低賃金が2024年4月1日に時給15.4加ドルに、その後同年10月1日に時給16加ドルに引き上げられると発表。

・10月5日、州政府は、ジョージタウン(州東部)を州最初の「ネットゼロコミュニティ」に指定。PEI大学の気候変動適応センターとサステナブルデザイン工学部と協力し、住宅や建物の電化やエネルギー消費効率化を進め、2027年までにネットゼロを目指す(州全体では2040年にネットゼロ達成が目標)。また、州で初となる「クリーンテックパーク」を開設し、グリーンテクノロジー企業を誘致する。PEI大学とホランド・カレッジが共同で設立する学校「クリーンテックアカデミー」も入居予定。

(5) NS 州

・10月11日、ラシュトン州天然資源・再生可能エネルギー大臣は、連邦政府が提案していた「アトランティックループ」構想は、州の2030年までのエネルギー政策にもはや含まれないと発表。州は2030年までに脱石炭、また電力の80%を再生可能エネルギーとすることを目指しており、同大臣は「ループ」はいずれ何らかの形で実現するかもしれないとしつつも、当面は風力・太陽光発電事業の拡大、NB州との既存の送電網拡大強化等で「ループ」なしで目標を達成できると説明((2)大西洋諸州経済ニュース参照)。ヒューストン政権は、QC州からの送電網建設・強化にかかる費用見積が最近90億加ドルに引き上げられた「ループ」は高過ぎるとし反対していた。また最近ではQC州が州内で消費するための新たな電力源を探しており、他州に電力を供給する能力も疑問視されていた。

・10月16日、オタワのシンクタンクPublic Policy Forumが発表した、大西洋州のエネルギー開発に関する報告書によると、州南岸沖の比較的浅い海域は洋上風力発電に適している。Sable Island付近だけで15MWの洋上タービン1000基を設置した場合、現在大西洋州で消費される年間総電力のほぼ2倍となる7万GWh、650万世帯に電力を供給できるという。

・10月23日、ロー州住宅大臣は、住宅5カ年計画を発表（学生向け住宅計画は策定中のため含まれず）。新規賃貸アパート建設に対する州売上税（10%）撤廃や222戸の新たな公営住宅建設等、最近発表した計画を含む。少なくとも10億ドルを支出し41200戸の住宅建設を目指す。州は、今後10年間で80400戸の住宅供給が必要となると予測。

(6) NB 州

・10月18日、アーヴィングオイル（本社セントジョン）のオーナーであるアーヴィング（Arthur Irving）氏は、会長職を辞任。幹部を務めていた娘（Sarah Irving）も辞任した。同社は現在、会社の売却を含む企業戦略の見直し中。同社はカナダ最大の製油所をセントジョンに保有し州最大の雇用主の一つ。他に国内外に1000以上のガソリンスタンドチェーン、アイルランドの製油所等も保有。

[在モンテリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

なお、当メールマガジン配信システムでは、技術上フランス語表記のアクセント記号をつけることができないことから、当館のHPにおいてアクセント記号付きのものを公開しております。

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンテリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下のURLをクリックすると閲覧いただけます。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ日本国大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館ホームページ（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

当館 Twitter : @JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モントリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当
(emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

■-----■